



去る令和7年8月8日(金)に開催された標記会議内容についてお知らせします。

議題 1. 令和 7・8 年度総合型地域スポーツクラブ全国協議会幹事長及び副幹事長の互選

事務局から、総合型地域スポーツクラブ全国協議会基本規程第 10 条及び第 11 条に基づき幹事 長及び副幹事長を選出する旨を説明し、幹事長及び副幹事長の互選を行った。

互選の結果、令和7・8年度幹事長、副幹事長が以下の通り選出され、同日付で地域スポーツクラブ育成委員会委員長によって承認された。

役割	氏名	所属
幹事長	渡邊 優子	新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
副幹事長	小田 新紀	北海道総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
副幹事長	小出 利一	群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

議題 2. 総合型地域スポーツクラブ全国協議会専門部会の設置並びに各専門部会部会長及び部会員の選出

事務局から、各専門部会の部会長及び部会員の選出にあたり、設置に係る規程を説明した後、 部会長について協議した結果、以下の通り選出の上承認された。部会員については幹事長、副幹 事長及び各部会長に一任することとし、後日以下のメンバーが承認された。

<企画部会>

役割	氏名	所属
部会長	小田 新紀	北海道総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
部会員	金川 敏洋	宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
部会員	熊耳 雅美	北海道スポーツ協会
部会員	坂口 尚子	熊本県スポーツ協会
部会員	柴田 紘希	日本体育大学
部会員	西村 貴之	金沢星稜大学
部会員	谷塚 哲	東洋大学

<広報部会>

役割	氏名	所属
部会長	太田 敬介	鹿児島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
部会員	鹿内 葵	NPO 法人スポネット弘前
部会員	鈴田 夢希	大分県スポーツ協会
部会員	西野 香理	富山県スポーツ協会
部会員	片野 翔太	福知山ユナイテッド
部会員	祐末 ひとみ	神戸親和大学
部会員	久井 直人	株式会社アンティル

<男女共同参画部会>

役割	氏名	所属
部会長	小出 利一	群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
部会員	谷本 稔	愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
部会員	藤堂 綾子	岐阜県スポーツ協会
部会員	杉野 裕一	株式会社 Kidz company
部会員	宮嶋 泰子	一般社団法人カルティベータ
部会員	山口 理恵子	城西大学

〈意見〉

○現在の「男女共同参画部会」という名称は、性別に焦点を当てたものであるが、現代社会においては、国籍、障がいの有無等、様々な観点から多様性が尊重されるようになってきている。そのため名称も「ダイバーシティ・インクルージョン」等、より広範な多様性を意識したものへと変更することが望ましいと考えられる。

議題 3. 総合型地域スポーツクラブ全国協議会処分審査会議長及び委員の選任

事務局から、処分審査会の議長及び委員の選出にあたり、設置に係る規程を説明した後、議長について協議した結果、以下の通り選出の上承認された。委員については幹事長、副幹事長と議長に一任することとし、後日以下のメンバーが承認された。

役割	氏名	所属
議長	浅沼 道成	岩手県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
委員	飯田 研吾	兼子・岩松法律事務所
委員	阿部 拓真	大正大学
委員	石黒 えみ	亜細亜大学
委員	谷塚 哲	東洋大学

〈意見〉

なし

報告 1. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 認証制度の取組状況について

事務局から部活動の地域展開タイプの進捗状況およびタイプ別認証(介護予防タイプ、障がい者のスポーツ推進タイプ)の検討状況、今後のスケジュールを報告した。

〈意見〉

- ○介護予防に関する活動を行う窓口は、総合型クラブだけでなく市区町村にもある。しかし、介護 予防に対する理解には自治体ごとに差があり、申請時に戸惑うケースもある。行政との情報共有 を進め、認識の統一を図る必要がある。
- 【事務局】介護予防タイプは部活動の地域展開タイプと同様に厚生労働省にもアプローチを行い、 情報共有をおこなったが、国から行政にどのように情報を共有していくかの詳細につい ては検討段階であった。そのため、介護予防タイプの周知もプロモーションをかけてい く必要があると考えている。
- 【オブザーバー】令和8年度以降に申請するクラブの見込みはどのくらいを予測しているのか。また、各ブロックでどのくらいのクラブが今後認証申請をしようと考えているのか。
- 【事務局】来年度の部活動の地域展開タイプの申請は、今年度と同程度の申請数があると考えている。申請を行ったクラブの大半は、事前に問い合わせがあったクラブである。一方、問い合わせをいただいたにもかかわらず申請に至らなかったクラブについては、認証要件である「運営団体」という観点に基づいて確認した結果、申請要件に該当しないことが判明したケースもあった。
- ○関東ブロックの多くのクラブは、他クラブの認証状況を様子見していると考えられる。また、群 馬県の総括コーディネーターやアドバイザーとして他の都道府県に赴いた際、自クラブが「運営 団体」なのか「実施主体」なのかを明確に理解していないクラブが多いと感じた。
- ○実際には基準をクリアしているクラブもあるが、クラブとして認証を取得する方向性になってい ないケースもあるのではないか。
- ○今後、認証を受けることで目に見えるメリットが得られる仕組みを整えることができれば、認証 を希望するクラブは増えていくと考えられる。また、介護予防や障がい者スポーツの認証タイプ においても、メリットが明確になれば、制度を活用しようとするクラブは増加するのではないか。
- ○認証制度への興味・関心について、各都道府県の調査結果を集約し、周知が十分でない都道府県に対しては、積極的にアプローチを行ってもよいと考える。調査では、認証制度への関心の有無だけでなく、具体的に認証申請の予定があるかどうかについても回答を得られると望ましい。また、認証されたクラブのメリットについては、すでに運営団体となっている団体が認証の対象となっているため、財源・人材・知識・情報などを得られることで、運営がしやすくなるのではないか。今年度申請したクラブに対して、実際にどのようなメリットを期待しているかをヒアリングしてもよいのではないか。

- ○認証申請クラブの情報は非公開であり、正式に公開されるのは認証されたクラブのみを予定しているのか。認証クラブが確定した際には、クラブ名や認証数をホームページだけでなく、登録クラブへメール等でも共有することで、認証クラブの把握が進み、次年度の申請につながる可能性がある。また、情報共有と併せてアンケートを送付し、申請予定や期待するメリットについて意見を聴取できると望ましい。さらに、今年度から始まった制度であるため、部活動の地域展開タイプワーキンググループはすでに解散しているが、必要に応じて制度の検証を行うことも検討できればよいと考える。
- ○認証申請クラブ数について問い合わせがあった場合、回答してよいか。現在の認証制度では、都 道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が申請書類を取りまとめて提出する役割を担っている。一方、登録制度では中間支援組織が登録審査会を開催し、書類を提出する形となっている。 今後、3 つの認証タイプが本格的に動き出す中で、中間支援組織が申請書類を取りまとめるだけでよいのか、最低限の確認を行うべきかによって、制度の見直しも含めた検討が必要であり、ワーキンググループの設置も有効ではないかと考える。

【事務局】認証申請クラブ数について、申請総クラブ数は回答してもよい。

○現状では、「運営団体」でないクラブは認証申請できないが、全国の市区町村の動向も踏まえ、 「実施主体」も対象に含めるかどうかを検討していかなければ、認証クラブの増加が見込めない 可能性がある。

報告 2.ブロック別クラブネットワークアクション 共通プログラムの内容について

事務局から、「次代の人材確保・育成」をテーマとしたブロック別ネットワークアクション共通プログラムについて、目的や内容を報告した。また、常任幹事から各ブロックの検討状況について、報告した。今後各ブロックにて共通プログラムの詳細について検討を進めていく。なお、今回、JSPOから提案したものではなくブロックで検討した取組を実施するブロックも含めすべてのブロックの参加者に対し、事後アンケートにて人材確保・人材育成に関する質問調査を実施する予定である。

	共通プログラム検討状況(実行委員会)
北海道	ブロックで検討した取組を実施(事後アンケートで情報収集予定)
東北	ブロックで検討した取組を実施 (事後アンケートで情報収集予定)
関東	ブロックで検討した取組を実施 (事後アンケートで情報収集予定)
北信越	ブロックで検討した取組を実施(事後アンケートで情報収集予定)
東海	JSPO からの提案をもとに共通プログラムの内容を検討中
近畿	JSPO からの提案をもとに共通プログラムの内容を検討中
中国	ブロックで検討した取組を実施 (事後アンケートで情報収集予定)
四国	JSPO からの提案をもとに共通プログラムの内容を検討中
九州	JSPO からの提案をもとに共通プログラムの内容を検討中

〈主な意見〉

○「真の課題を明らかにする」という視点は、これまでありそうでなかった新しい切り口であり、 深い議論につながると考えられる。クラブのスタッフや手伝いとして関わっている方々が、今 後クラブを運営していく立場としてこうした議論に参加できるのであれば、大きな期待が持て る。

以上、12:00に閉会した。